

決済システムの整備に関する一般指針

銀行システム

中央銀行を中心に備えよ：中央銀行は通貨の安全に広く責任を有しており、マネーが有効な決済手段として利用されるよう整備する上で中心的な役割を担っている。

健全な銀行システムの役割を高めよ：エンドユーザが利用可能な決済口座、支払手段やサービスは銀行および類似の金融機関が提供しており、それらの提供主体は互いに競争する一方で、多くの場合、一つの「システム」として協力する必要がある。

計画

複雑性を認識せよ：計画策定は、決済システムの全ての中核要素および決済システム整備に影響を及ぼし得る主な要因についての、包括的な理解に基づいて行われるべきである。

ニーズに焦点を当てよ：決済システムにおける全てのユーザの決済に関するニーズおよび経済の実力を把握し、それらに導かれるかたちで計画を策定すべきである。

明確な優先順位を付けよ：決済システムの整備は戦略的に計画し、優先順位を付けよ。

実施が鍵となる：戦略的計画の効果的な実施を確保せよ。

制度的枠組み

市場の発達を促進せよ：決済サービス市場における市場の仕組みの拡大・強化は、決済システムの発展の重要な側面である。

利害関係者を関与させよ：決済システムに係る利害関係者間の効果的な協議を促進せよ。

効果的なオーバーサイトのために連携せよ：中央銀行による決済システムの効果的なオーバーサイトには、他の当局との連携体制が必要なことが多い。

法的確実性を向上させよ：決済システムのための、透明、包括的かつ堅固な法的枠組みを整備せよ。

決済インフラ

リテール決済サービスの利用可能範囲を拡大せよ：リテール決済に関するインフラを拡張・改善することにより、消費者、企業、および政府のための、効率的で安全な現金以外の支払手段・サービスの利用可能範囲および選択肢を拡大せよ。

ビジネスケースに基づいて大口資金決済システムを整備せよ：大口資金決済システムは、主として金融市場のニーズや時限性の高い銀行間決済の増加に基づいて整備せよ。

資金決済システムと証券システムの整備を連携させよ：金融システムの安全性と効率性のために、証券システムと大口資金決済システムの整備を連携させよ。

リテール決済システム、大口資金決済システム、および証券システムの決済を連携させよ：コアとなるシステム間の相互に影響する流動性需要や決済リスクを効率的に管理するためには、それらシステム間の決済処理業務を連携する必要がある。